

## ■米国：オバマ大統領が包括的エネルギー・レビューの実施を指示

オバマ大統領は2014年1月9日、包括的な国家エネルギー・レビューを四年ごとに実施することを指示した。レビューはエネルギー政策の施行状況および技術開発の現状に関する評価に加え、経済成長、環境保護、エネルギーセキュリティといった、あらゆる側面の国家的課題を勘案した政策提言を含むとされる。なお、第一回は2014年1月末までの実施が求められており、特に、電力およびガスの輸送システムの課題についてまとめるよう指示されている。レビューの実施にあたって、科学技術政策局および国民政策審議会を中心に、20を超える連邦機関が参加するタスクフォースの結成が指示されており、独立規制体である連邦エネルギー規制委員会および原子力規制委員会に加え、州政府をはじめとする利害関係者の招集も予定されている。なお、このような包括的レビューの実施は、予てより、一部の民主党議員が法制化に向けた動きを見せていた。